

第39回横浜開港祭に
ご後援・ご協力をいただき、ありがとうございました。
これからも「横浜開港祭」をよろしくお願ひいたします。

主催

横浜開港祭協議会

(横浜市、横浜商工会議所、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(一社)横浜青年会議所)

後援

朝日新聞社横浜総局

アル・エフ・ラジオ日本

NHK横浜放送局

神奈川県

神奈川新聞社

京浜急行電鉄(株)

在日本大韓民國總領事館神奈川県地方本部

産経新聞社横浜総局

JICA横浜

(株)タウンニュース社

駐日英國大使館

駐横浜大韓民国總領事館

tvk(テレビ神奈川)

東京新聞横浜支局

(株)ばど

(公財)帆船日本丸記念財團

毎日新聞横浜支局

(公財)マリンスポーツ財團

イベントードプロ115合同会社

横浜エフエム放送(株)

(株)横浜銀行

横浜港ポート天国推進連絡協議会

横浜市ケーブルテレビ協議会

横浜市国際学生会館

(公財)横浜市国際交流協会

(公財)横浜市体育協会

(公財)よこはまユース

読売新聞東京本社横浜支局

(五十音順)
(敬称略)

協力

(協)伊勢佐木商店街

イセザキ・モール1・2st

FM湘南ナバサ

(株)エフエム戸塚

神奈川韓国青年商工会

(公社)神奈川県観光協会

(公社)神奈川県産業廃棄物協会青年部会

神奈川県ラグビーフットボール協会

神奈川ISGGクラブ

鎌倉エフエム放送(株)

学校法人大谷学園

学校法人創志学園クラーク記念国際高等学校

(独)航海訓練所

国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所

第三管区海上保安本部

東急電鉄(株)

日産スタジアム

パシフィコ横浜

馬車道商店街(協)

東日本旅客鉄道(株)

(株)ポートサービス

横浜華僑總会

ヨコハマ経済新聞

横浜高速鉄道(株)

横浜市町内会連合会

(株)横浜スタジアム

横浜中華街発展会(協)

(株)横浜DeNAベイスターズ

NPO法人よこはま・七つ星

横浜・八景島シーパラダイス

株式会社横浜ビー・コルセアーズ

(株)横浜フリエスポーツクラブ(横浜 FC)

横浜マリノス(株)(横浜F・マリノス)

横浜元町ショッピングストリート

(株)ロイヤルウイング

Y.S.C.C.

(五十音順)
(敬称略)



〈問合せ〉

横浜開港祭事務局

〒231-0012 横浜市中区相生町1-18 光南ビル 2F-B号室

TEL 045-212-5511(代) FAX 045-212-5510 <http://www.kaikosai.com/>





GREETING



INTERVIEW



第39回横浜開港祭は、“Thanks to the Port”「開港を祝い、港に感謝しよう」

～まちを知り 笑顔になって 夢語ろう～ をテーマに、

2020年5月30日(土)・5月31日(日)・6月2日(火)の3日間にわたり開催を予定しておりましたが、

本年は世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、実地での開催は中止となりました。

横浜開港祭は、横浜の開港を祝う市民参画型のお祭りとしてプレ横浜どんたくより歴史を紡いで参りましたが、

1981年以来初めて実地での開催中止となりました。

歴史ある横浜開港祭の開催趣旨、目的にご賛同を頂きご支援・参加の予定をされていたご協賛企業の皆様をはじめ、

市民の皆様、関係諸団体、メディア関係者の皆様、ボランティアの皆様より、

数多くの労いのお言葉や第40回開催に向けての激励を頂戴し、主催者を代表しまして厚く御礼申し上げます。

本年は例年通りの横浜開港祭開催には至りませんでしたが、

神奈川県内ケーブルテレビにて「第39回横浜開港祭特別番組」が放映され、

親善大使のメンバーによる「おうちで踊ろう横浜市歌」のダンス動画公開、「おうちで学ぼう横浜開港祭」の動画公開、

横浜開港祭特別包装マスクの寄贈、開港記念日特別包装パッケージのお弁当販売、

横浜開港祭ホームページ上での「横浜開港祭クイズ」などコロナ禍においても可能な新たな取り組みを行いました。

来年の横浜開港祭は、第40回を迎える節目の開催となります。

新型コロナウイルス感染症の収束を切に願い、

横浜開港祭が全国を代表する市民祭となるように我々実行委員会は全力を尽くして準備を進めて参ります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

第39回横浜開港祭協議会 会長
(一社) 横浜青年会議所 第69代理事長

坂倉 賢

実行委員長インタビュー

Q1

第39回が横浜開港祭の実地での開催中止となったことについて

第39回横浜開港祭の実行委員長として継続し開催してきた重みを感じながら開催に向け活動してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参画、参加して頂く皆様の安心、安全が担保出来ない以上、実地での開催をすべきではないと判断し、また横浜開港祭を次に繋げることも踏まえ実地での開催中止という苦渋の決断を致しました。新型コロナウイルス感染拡大のなかではありましたが、J:COM様のご厚意により「第39回横浜開港祭特別番組」をテレビ放送して頂き、また、(株)崎陽軒様のご厚意により第39回横浜開港祭で使う予定だったポスターをシウマイ弁当に特別包装してコラボレーションして販売して頂きました。その他にも第39回横浜開港祭元気プロジェクトとして『おうちで踊ろう横浜市歌 横浜開港祭2020バージョン』や『横浜開港祭クイズ』を横浜開港祭公式HP内で募集し参加して頂きました。実地での開催が叶わないなかで、横浜の開港に対して発信させて頂きました。

Q2

第39回横浜開港祭のテーマについて

第39回横浜開港祭のメインテーマは毎年変わらず“Thanks to the Port”「開港を祝い、港に感謝しよう」を、そしてサブテーマとして「まちを知り 笑顔になって 夢語ろう」と定めました。6月2日は開港記念日であり、「横浜」にとって歴史が大きく動いた日でもあります。サブタイトルは、私たちが住み暮らす『まち』の歴史を『横浜開港祭親善大使による横浜の歴史』と題し紙芝居形式で横浜開港祭公式HP、公式SNSを通して、新たな『まち』の魅力を知って頂ければと作成致しました。また、当日は第39回横浜開港祭を参画、参加して頂き心から『笑顔』になれるように、横浜開港祭協議会、実行委員会メンバーと共に準備して参りました。そして、横浜開港祭の体験を通して将来の『夢』を家族や友達、恋人と語り合って欲しいと想いサブテーマを考えました。



Q3

第40回横浜開港祭の方向性について

来年も新型コロナウイルス感染拡大の影響が多少なりともあるとは思います。どんな状況でも横浜開港祭を開催する上で参画、参加して頂く方の安心・安全は第一優先です。その中で開催し続けてきた横浜開港祭の開催趣旨・目的はどんなに時代が変わろうとも不変なものです。来年は第40回の節目の横浜開港祭をを迎えます。これからも初夏の風物詩として多くの市民の皆様に親しまれるよう横浜開港祭を開催していきます。新型コロナウイルス感染拡大が1日でも早く鎮静化され、人と人との気兼ねなく交流できる日々が戻ることを祈念致します。



Q4

最後に一言

第39回横浜開港祭も開催に向けて活動するなかで多くの温かいお言葉を頂きました。横浜開港祭に賛同して頂いている企業の皆様、個人の皆様、また横浜開港祭を愛してやまないサポーターやボランティアの皆様、横浜開港祭を共に準備している協力企業の皆様、第39回横浜開港祭親善大使の皆様、そして横浜開港祭を楽しみに来場する予定であった皆様、第39回横浜開港祭は実地での開催中止となりましたが横浜開港祭の実行委員長として皆様に心より感謝申し上げます。横浜開港祭は市民参画型の市民祭とし来年、第40回を迎えます。今後も変わらぬご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

スポンサーインタビュー

日頃から横浜開港祭をサポートしていただいている企業の担当者さまに横浜開港祭に対する「想い」を伺いました。



感動の涙をふたたび

山本 剛さま

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
横浜支店 支店長



「横浜開港祭」それは私にとって眩しい光のようなものです。横浜市最大の市民祭であるこのイベントに関わることは、多くの来場者の笑顔を創出し、港への想いを馳せ、SDGs等の問題意識の醸成など大変意義あるものであり、私にとって特別な出来事となります。本年は残念ながらこの夢のイベントが開催されませんでしたが、第40回に向けて、想いは尚一層強くなるばかりです。来年もスポンサーとして参加するだけではなく、成功に向けての参画者として、横浜青年会議所のみなさまの脈々と引き継がれてきた熱き魂を共有していきたいと思っております。そしてビームススペクタクルinハーバーでは、2年分の想いとともに眩しい光を見ながら一緒に感動の涙を流したいですね。



ケーブルテレビ会社が4社で共同制作「横浜開港祭特別番組」

玉木 洋平(所属 J:COM)さま

横浜市ケーブルテレビ協議会
制作委員会:横浜開港祭担当

横浜市ケーブルテレビ協議会が制作する「横浜開港祭特別番組」は市民の皆さんから毎年好評いただいているコンテンツとなっています。番組では日中に行われるステージやアトラクションはもちろん、ドリーム・オブ・ハーモニー、ビームススペクタクルinハーバーを番組の柱に据えて放送しています。「テレビで花火を見る」という事に対しては様々なご意見があるのですが、視聴者様からの声を紹介すると、「子どもが小さく混雑する場所に行けないからテレビで観れて良かった!」、「涼しい自宅で、窓の外からの轟音を聞きたながら、ビールを片手にテレビで觀ています。」など、うれしいコメントが多く寄せられています。残念ながら第39回は通常の形での番組制作ができませんでしたが、メディアを通して横浜開港祭をご紹介することで、一人でも多くの横浜市民の方がこのイベントに参加できるように今後も頑張ってまいります。

第39回横浜開港祭親善大使

コロナ禍において

「おうちで学ぼう横浜開港祭」「おうちで踊ろう横浜市歌」等で横浜開港祭をPRしました!



黒川 さくら

近藤 沙耶

佐々木 夢夏

島村 涼花

周一衣

鍾 詩敏



須田 彩果

高田 菜々子

高橋 真由

天白 真梨

中谷 韶

古屋 美輝



堀切 華穂

松崎 瞳子

村田 愛子

和田 弥月

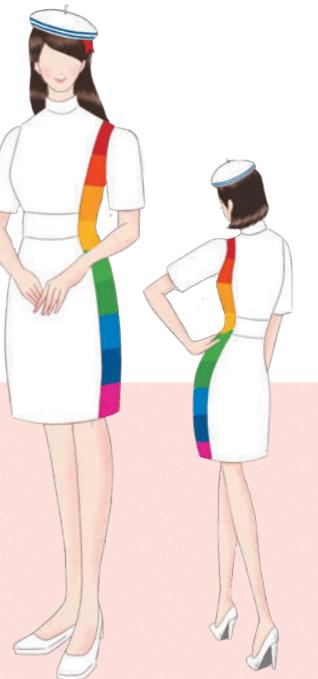
Design Concept



デザイナー
学校法人岩崎学園 横浜fカレッジ
ファッションライフデザイン学科
高田 菜々子さん

テーマは「描こう、横浜の未来を」

ジェンダー平等や住み続けられる街、平和で平等な社会を想い描き、横浜の明るい未来をみんなで築いていきたいという想いを込めました。SDGsカラーを使用した虹色は絵具に見立て、白はスケッチブックに見立てています。光も感じられる真っ白なスケッチブックは様々な可能性を秘めており、そこに絵具(SDGsカラー)で横浜の明るい未来を描いています。また、LGBTの象徴である虹色は、横浜の人々の多様性を表しています。





活動実績

新型コロナウイルス感染拡大の影響により
第39回横浜開港祭は、実地での開催は中止となりましたが
WEB等で横浜の開港について発信させて頂きました！

おうちで踊ろう横浜市歌

市民の皆様と子供たちに少しでも元気になって頂けるよう、「おうちで踊ろう横浜市歌」を企画致しました。横浜市歌2020ダンス練習動画にて振り付けをマスターして頂き、子供たちの元気なダンスをSNSで投稿して頂きました。



第39回横浜開港祭元気プロジェクト
おうちで踊ろう横浜市歌
～横浜開港祭2020バージョン～



みんなで横浜市歌2020踊ってみた



おうちで踊ろう横浜市歌
～横浜開港祭2020バージョン～
☆みんなで横浜市歌2020を踊ってみた☆



おうちで学ぼう横浜開港祭

□全5話収録



横浜開港祭親善大使による横浜の歴史

第39回横浜開港祭親善大使が手作り
フリップを使い紙芝居形式で横浜の歴史の説明をしました！



1 開港～文明開化
黒川 さくら



2 市政施行～関東大震災
須田 彩果



3 震災復興～第二次世界大戦
村田 愛子



4 戦後～高度経成長期
高田菜々子 & 近藤沙耶



5 コンテナ時代～現在
佐々木 夢夏



活動実績



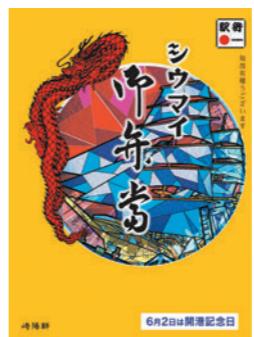
おうちで楽しもう横浜開港祭

J:COMプレゼンツ第39回横浜開港祭特別番組が、神奈川年内ケーブルテレビで放送されました。番組では、主催する横浜青年会議所理事長や実行委員長、開港祭親善大使などがリモートによるゲスト出演をしました。インタビュー形式で横浜開港祭の魅力などを語りながら、昨年開催された第38回横浜開港祭でのドリームオブハーモニーとビームスペクタクルinハーバーのダイジェストが放送されました。また、横浜開港祭ホームページ上においても、第38回横浜開港祭ドリームオブハーモニーとビームスペクタクルinハーバーのダイジェストが限定公開されました。



開港記念日特別包装版シウマイ弁当

(株)崎陽軒様より、本年度は開港記念日特別包装版としてシウマイ弁当を販売して頂きました。パッケージ正面には第39回横浜開港祭をイメージしてデザインされたイラストを採用しております。



横浜開港祭オリジナルパッケージマスク

岩崎学園様より第39回横浜開港祭ポスターデザインを提供して頂きました。当該ポスターを(一社)横浜青年会議所のマスク配布企画のパッケージに使用させて頂きました。



スペシャルサポーター

第39回横浜開港祭
スペシャルサポーター 大山 愛未さん

元SDN48の二期メンバーとして活動し2011年NHK紅白歌合戦にも出場。卒業後はソロとして活動を開始。現在は神奈川・横浜を中心に歌手やタレントとして活動しており、2017年からはFM yokohama「PRIME TIME」にレギュラーDJとして出演し、CMナレーションや関連イベントにも多数出演。過去には横浜開港祭にてメインステージのMCやステージでも活躍しており馴染みも深く、本年度のスペシャルサポーターでは公式YouTubeや自身のSNS上で横浜開港祭を盛り上げて頂きました。



横浜開港祭 歴史をふりかえる。

開港記念日の由来

最初に調印された日米修好通商条約では、1859年7月4日に開港することになっていましたが、結局アメリカ、オランダ、ロシア、イギリス、フランスの5ヵ国すべてに対して陽曆7月1日（現在の6月2日）に開港されることになりました。

もともと神奈川が開港の候補地とされていましたが、東海道沿いで外国人とのトラブルが予想されたため、当時、辺鄙（へんび）で取り締まりやすい横浜の地が選ばされました。横浜には水深も十分あり港として優れていたため、開港後は急速に発展しました。

当年の開港当日は特に祝賀行事も行われませんでしたが、1周年にあたる万延元年の6月2日に、山車や手踊りで街中あげて開港を祝ったのが、開港記念日の始まりです。

国際デー 趣意書

私たちの郷里横浜は今を去る百二十年前開港し、日本の夜明けとも言える文明開化の時代にはわが国の新しい文化情報の拠点として、新生日本の発展に大きく寄与してきました。それから一世紀余りを経た今日、時の流れとともに世界の情勢も幾多の糾余曲折を重ね、大きく変わり、その渦中でわが日本も現在の複雑な世界機構の中で、国際社会の一員として地歩を固めるとともに、その在り方にも国際的感覚を強く要求されてきました。これに対応するには、諸般の情勢との整合性を保つつつ、従来とは質的に異なる意識の基に、新しい発想による行動が必要あります。

過去、横浜青年会議所では、国際親善児童画展を昭和二十九年より十六回、国際こども音楽祭を昭和四十七年より八回開催し、バンクーバーJC、サンジエゴJC、基隆JC、パラニアケJC、香港JCエットと姉妹JCを締結し、その活動を通じて時代に合った民間外交に微力ながら成果を上げてきました。

もとより80年代の国際交流の在り方として、世界化して行く中での地方都市横浜を考え、在浜外国人と市民の交流の中で、国際人としての感覚を涵養し、国際的問題等に的確に対応できる国際協調の精神を培って行くべく、新しい文明開化を試みるもので、国際デーと命名し広く市民にアピールしてゆくものである。

横浜どんたく協議会 趣意書

私たちのまち、横浜の歴史は、日本近代化の歩みとともに、国際港都として発展してまいりました。関東大震災をはじめ、敗戦と占領といった数多くの障害を克服し、戦後の復興期、高度成長期を通じて人口300万人の大都市へと成長してまいりました。

いま私たちの横浜は21世紀の都市づくりにむけて、新たな船出をしようとしています。「みなとみらい21計画」をはじめ横浜の都市づくりは固有の歴史や資源を活かしつつ首都圏の中核都市ヨコハマ国際文化都市をめざし、新しい都市づくりに取組んでいかなければなりません。

このような背景の中で開港記念日を中心とする期間に、横浜港・山下公園・大桟橋・みなとみらい21地区の都市部を中心とする地域で、横浜の誕生を祝い、文明開化発祥の地である横浜の歴史を再認識し、新たな市民意識の高揚と連帯を図り新しい国際文化都市を創造する市民参加の祭りを恒例的に開催してまいりたいと思います。

開港当時、盛んに使われたオランダ語のZONDAG（休日）にちなんで命名された「横浜どんたく」をこのような趣旨のもとに、横浜市・横浜どんたく商工会議所・社団法人横浜青年会議所による「横浜どんたく協議会」が中心となり、横浜の市民参加による市民のための祭りとして開催したいと考えております。

横浜青年会議所設立 趣意書

祖国日本の再建は、我々青年の燃ゆるが如き情熱と撓まざる実行力に依ってのみ達成せられる。新しき社会を双肩に担う青年が同志相寄り相互の啓発と親睦を図り社会への奉仕を通じ広く全世界の青年と提携し将来における指導力の涵養に努めんとここに横浜青年会議所設立せんとする。

既に東京、大阪、名古屋等全国十箇所には青年会議所が設立され目下設立準備中のもの十指を屈するに余りあると聞く日本の門戸、否な国際港都としての横浜の演ずる役割の重且つ大なる今日、国民待望の講和条約締結を控え横浜青年会議所の設立に依り、世界経済の一翼として、日本経済の復興と世界平和の実現にいささかなりとも貢献せんと企画するものである。

第1回 横浜国際デー プレ 横浜どんたく

■開催日／1981年6月7日
■動員数／5万人 ■場所／山下公園 他

■イベント 热気球の浮遊・どんたくバレー・夢のミニSL大フェスティバル・ポートサウンドフェスティバル・オリエンテーリング
■トピックス 「横浜の歴史的意義の見直し」「国際都市横浜の質的向上」「国際感覚・国際協調精神の涵養」等を狙いとした「国際デー」が授賞され、「プレ横浜どんたく」として実施された。



'82国際デー 第1回 横浜どんたく

■開催日／1982年6月5日・6日
■動員数／25万人 ■場所／山下公園 他

■イベント 横浜ポートコンサート・マリンイベント・どんたくバザール・どんたくバード・市民文化祭・フリーコンサート
■トピックス 横浜どんたく協議会（横浜市・横浜商工会議所・横浜青年会議所）が、主催団体として発足。また、シンボルマーク（黒船）もこの年に制定された。



'83国際デー 第2回 横浜どんたく

■開催日／1983年5月29日・6月2日・4日・5日
■動員数／30万人 ■場所／山下公園 他

■第2回横浜どんたく協議会 会長／板倉 徹 ■第2回横浜どんたく実行委員会 実行委員長／大江 光正

■イベント どんたくバード・どんたくポートコンサート・市民文化祭・大桟橋ファミリー広場・海上アクションイベント
■トピックス 横浜どんたくを真に横浜独自の祭りとする為には、ユニークな「音楽×リズム」の創出が不可欠との考えからテーマ曲が創作となり発表された。（寺内タケシ氏に創作が依頼された）



第3回 横浜どんたく

■開催日／1984年6月2日・3日
■動員数／25万人 ■場所／山下公園 他

■第3回横浜どんたく協議会 会長／室田 良一 ■第3回横浜どんたく協議会 実行委員長／野並 直文

■理事／平塚 幸光
■イベント どんたくバード・市民文化祭・マリンコンサート・洋上イベント・パソコンゲーム大会・ファミリー広場
■トピックス この年、国際デーの名称が外れるとともに、継続する祭りとしての骨格が、ほぼ整ったといえよう。また、テレビを媒体として使ったことも特筆される。



第4回 横浜どんたく

■開催日／1985年5月31日～6月2日

■動員数／88万人 ■場所／山下公園 他

■第4回横浜どんたく協議会 会長／浅利 治 ■第4回横浜どんたく実行委員会 実行委員長／竹内 一夫
■第一事業委員会 委員長／渡辺 鮎 ■第二事業委員会 委員長／久保 裕二
■第三事業委員会 委員長／加山 正治朗

■イベント どんたくバード・市民文化祭・どんたくポートコンサート・どんたくバード・マリンイベント・市民文化祭・どんたくスポートフェア・チビッ子ミニ駅伝・ギネス50人などび・どんたくミニSL広場・フワフワラン・ド・なひき大会・日本丸
■トピックス 新たにホーネットイベントとして「横浜ビッヂミニ駅伝」「三世代交流ゲートボール大会」を、どんたくのプログラムに加えた。「国際青年の年」のどんたくとしてパワフルに展開された。メインアーティストは中原ひいこ・バブルガムブラザーズによるライブを開催。



第5回 横浜どんたく

■開催日／1986年5月30日～6月1日

■動員数／93万人 ■場所／山下公園 他

■第5回横浜どんたく協議会 会長／野並 直文 ■第5回横浜どんたく協議会 実行委員長／山本 洋一
■横浜どんたく第一委員会 委員長／田村 啓一 ■横浜どんたく第二委員会 委員長／大沢 洋二
■横浜どんたく第三委員会 委員長／沖田 保

■イベント どんたくバード・市民文化祭・どんたくスポーツフェア・スペシャルコンサート・マリンイベント・自転車フェスティバル
■トピックス この後、洋上ステージとともに呼び物の一つとなるビームスベクタクルインハーバー（前夜祭）が登場。F1誘致も絡めたオートスポーツフェスティバルも人気を博した。



第18回 横浜開港祭

■ 開催日 / 1999年5月29日・30日・6月2日
■ 動員数 / 80万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区内 臨港パーク

● 第18回横浜開港祭協議会 会長 / 宮林 雄彦 ● 第18回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 杉村 豊
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 後藤 元信 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 菊嶋 秀生
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 増尾 誠一

■ イベント
コンサート・夢のハーモニー・マリンイベント・海上セイルトレーニング体験乗船会・乗船会・ポートファンタジア・花火大会・ポートキャンバス・官公庁船パレード・横浜開港お宝鑑定・開港祭ストリート・ドラゴンボートレース・全日本ジェットスパーソーフィーストライル選手権シリーズ第2戦

■ トピックス
北原照久氏や他の鑑定士の方々のトークショウを交えた「横浜開港お宝鑑定」を開催しました。またグランドフィナーレでは黒船来航から横浜開港、そして現在までの様子をミュージカル立てで再現をしました。さらに開港記念セレモニーでは開港祭の名譽会長 高秀横浜市長らに、開港140周年の宣誓をして頂きました。



第19回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2000年6月2日・3日・4日
■ 動員数 / 55万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区内 臨港パーク

● 第19回横浜開港祭協議会 会長 / 定山 宗一 ● 第19回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 手塚 重仁
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 岸井 紀之 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 田岡 克己
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 竹村 光史

■ イベント
コンサート・夢のハーモニー・マリンイベント・官公庁船パレード・乗船会・乗船会・ポートファンタジア・花火大会・ポートキャンバス・官公庁船パレード・横浜開港お宝鑑定・開港祭ストリート・ドラゴンボートレース

■ トピックス
第19回では「横浜はじめて物語」～横浜からはじめて日本全国に広がった文化（横浜発祥：水道・ビール・狸団車・草履車・草履車・アイスクリーム・ガス灯・洋服）～と一緒に会し、来場市民の皆様に横浜の歴史を知りて顶きました。また、「横浜はじめて物語」吹奏楽コンサート～ザ・ブルースクルーズ～も盛大に開催されました。



第24回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2005年6月1日・2日
■ 動員数 / 60万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第24回横浜開港祭協議会 会長 / 黒川 啓 ● 第24回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 北川 刚司
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 稲本 正和 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 江森 克仁
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 室田 博士

■ イベント
開港祭ライブ・ドリームオブハーモニー・ビームスペクタクルインハーバー・マリンイベント・乗船会・開港祭ストリート・キッズラン・ポートキャンバス・フリートアートプロジェクト・チャレンジザガネス・開港祭エアクラーク

■ トピックス
横浜開港祭チラシ2005で市民約3000名と3分間競走の記録を挑戦し1723名の記録を出しました。会場が1つになると以前のないイベントとなりました。また、フリートアートプロジェクト2005では当日来場の皆様たちに仮装行列で使われた日本のフロートに「港」をテーマにした切り絵を書いて頂きました。



第25回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2006年6月1日・2日
■ 動員数 / 67万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第25回横浜開港祭協議会 会長 / 岩城 浩真(改布) ● 第25回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 高橋 卓
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 田野井 伸泰 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 守屋 健一

■ イベント
開港祭ライブ・ドリームオブハーモニー・ビームスペクタクルインハーバー・マリンイベント・乗船会・開港祭ストリート・チャレンジザガネス・フリートアートプロジェクト

■ トピックス
この年総務委員会と広報委員会が合意で特別委員会となる。横浜市が掲げる「G30」をより具体化化してエコイベントに着目。イベント用いた帆船で特別委員会となる。また、ギネスによる挑戦は未だ市民の方々に開港祭に参加する喜びを味わって頂けました。広報活動においては輸入バーを用いた「バー号」にてPR活動。この年よりキャラクター活動で年ごとに協力していくキャラクターの呼称を「横浜開港祭親善大使」と命名。メインアーティストは田知可子氏による開港祭ライバーを開催



第20回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2001年6月2日・3日

■ 動員数 / 53万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区内 臨港パーク

● 第20回横浜開港祭協議会 会長 / ナリン・シード・アドニア ● 第20回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 竹村 光史
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 清水 真一 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 横田 浩久
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 河原 功

■ イベント
コンサート・夢のハーモニー・マリンイベント・官公庁船パレード・開港祭ギネスに挑戦・乗船会・スタートライリュージョン・花火大会・ポートキャンバス・横浜はじめて物語・横浜のまちドリート

■ トピックス
開港祭ギネスに挑戦～珍記録続出! ワーゲンピットルに何人乗れるか? ~など新企画や、第10回から続く約500名の市町で構成される「夢のハーモニー」は、倍の人数の募集をかけて約1000名の市民大合唱で開催致しました。



第21回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2002年6月1日・2日 ■ 動員数 / 57万人

■ 場所 / 新港地区(メイン会場 赤レンガパーク)及び その他周辺

● 第21回横浜開港祭協議会 会長 / 北原 登美夫 ● 第21回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 阿部 政彦
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 蒲田 順一 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 加藤 宏一
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 斎藤 兼彦

■ イベント
コンサート・夢のハーモニー・マリンイベント・乗船会・花火大会・エクステラオーシャン・横浜ワカラーポートキャンバス・横浜はじめて物語

■ トピックス
従来のメイン会場である臨港パークは隣接するバフィコ横浜がサッカーワールドカップの報道陣の拠点になるため使用できなくなった。しかし、この年からベイエリアの名所に加わった赤レンガパークで初めて開催。サッカーワールドカップ決勝が同時期に開催という状況の中で、各國からお越し頂いた方々へ横浜の国際色かな魅力を存分に伝える開港祭となりました。



第22回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2003年5月31日～6月2日

■ 動員数 / 61万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第22回横浜開港祭協議会 会長 / 後藤 元信 ● 第22回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 寺田 順一
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 简 伸治 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 江森 克治
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 小倉 美智子

■ イベント
コンサート・ドリームオブハーモニー・マリンイベント・乗船会・花火大会・赤い靴フェスティバル・みなと横浜開港物語・ECOプラザ・キッズラン・横浜開港大通り

■ トピックス
ECOプラザではエコカー・体験乗車や商品・クリーン購入商品の紹介等、子供にも理解やすい体験学習プログラムを実施。みなと横浜開港物語では港というロケーションを最大限に活用した150名以上の市民公募キャラクターによる光・音・特殊効果の壮大なステータクル行を行いました。



第23回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2004年5月29日・30日・6月2日

■ 動員数 / 75万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第23回横浜開港祭協議会 会長 / 竹村 光史 ● 第23回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 斎藤 智範
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 渡邊 要 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 石井 紀光
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 門脇 幹

■ イベント
開港祭ライヴ・ドリームオブハーモニー・花火大会(スタートライリュージョン)・横浜開港港湾パーク

■ トピックス
開港祭港湾パーク・マリンイベント・乗船会・おの街ストリート・エコキッズ・ポートキャンバス

■ トピックス
開港祭の節目の年、横浜をこよなく愛する横山創氏率いる「クレイジーケンバンド」のライブや、横浜開港広場・開港劇場による演劇や音楽・舞踏が融合するエンターテイメント

データーを実現せ開港145周年を盛り上げた。



第26回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2007年6月1日・2日

■ 動員数 / 69万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第26回横浜開港祭協議会 会長 / 斎藤 智範 ● 第26回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 板橋 由紀
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 伊藤 文和 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 森川 吉幸
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 田中 鶴

■ イベント
開港祭ライヴ・ドリームオブハーモニー・ビームスペクタクルインハーバー・マリンイベント・乗船会・開港祭ストリート・キッズラン・ポートキャンバス・子ども神戸DAわっしょい・エコブース・ライバインティング・子どもチャンバラ・横浜どんたくハーレード・キッズドミネーション

■ トピックス
郷土愛～次なる時代に光輝く子どもたちの笑顔のために～サブテーマとして開催。広報活動における効果測定としてホームページ上にSEO(検索エンジン最適化)を採用。ブログの活用など、より一般市民との双方コミュニケーションが確立された。メインアーティストはタケカワユキヒテによるライブを開催。



第27回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2008年6月1日・2日

■ 動員数 / 70万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第27回横浜開港祭協議会 会長 / 板橋 由紀 ● 第27回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 横尾 克典
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 中村 貴司 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 鈴木 朋成
● 横浜開港祭プロモーション委員会 委員長 / 阿部 隆行

■ イベント
開港祭ライヴ・ドリームオブハーモニー・ビームスペクタクルインハーバー・乗船会・開港祭ストリート・キッズラン・ポートキャンバス・子ども神戸・みなこいおり・エコステーション・風の船・屋形船・サセキクルーズ

■ トピックス
～みらんの子どもの笑顔のために～サブテーマとして開催。地域キャンペーンでは日産スタジアム・観光地・駅等の人々が賑わう場所はもちろんの事学童保育所等の地域の細部に至るまでの広報活動を行う。メインアーティストは上田正樹氏によるライブを開催。



第28回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2009年6月1日・2日(前夜祭5月31日)

■ 動員数 / 100万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第28回横浜開港祭協議会 会長 / 徳増 英治 ● 第28回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 宝田 博士
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 斎藤 昭夫 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 大野 浩一
● 横浜開港祭広報委員会 委員長 / 石井 洋之

■ イベント
開港祭ライヴ・ドリームオブハーモニー・ビームスペクタクルインハーバー・マリンイベント・乗船会・開港祭ストリート・キッズラン・ポートキャンバス・あそび園セレブリティ・ブルーインフレーム展示会 etc.

■ トピックス
～開港150周年! 横浜市民で創り最大の祭典!!～をサブテーマとして開催。開港150周年という節目の年、前夜祭を含め3日間開催される。150周年事業としては1500個の風船を大空に飛ばし、夫婦の種類やタイムカプセルを埋め50年後の開港200周年へ世界をつなぐいた。開港パークでは上空を航空自衛隊「ブルーインフレーム」が華麗な飛行を披露。メインアーティストは時がかながく光と音楽・舞踏が融合するエンターテイメントストリートの「ゆず」が飛び入り参加。当日限りの「ゆずクリーン」のお披露目がなされた。



第29回 横浜開港祭

■ 開催日 / 2010年5月29日・30日・6月2日

■ 動員数 / 70万人 ■ 場所 / みなとみらい21地区 臨港パーク

● 第29回横浜開港祭協議会 会長 / 横尾 克典 ● 第29回横浜開港祭実行委員会 実行委員長 / 高見澤 尚弘
● 横浜開港祭総務委員会 委員長 / 河内 幸次郎 ● 横浜開港祭企画運営委員会 委員長 / 益子 栄二
● 横浜

